

～令和7年4月に小学校に入学するお子様の保護者の方へ～

MR(麻しん・風しん混合)2期予防接種のお知らせ

特に大事な予防接種です。この通知が届いたらできるだけ早い時期に、接種しましょう！



※麻しん、風しん両方の病気にかかったお子様は接種を受ける必要はありません。
ただし、どちらか一方にかかったことがあるお子様は、MRワクチンを定期接種として接種可能です。

○対象者：平成30年4月2日生～平成31年4月1日生
(令和7年4月に小学校入学予定)

○接種回数：1回(※全2回のうち2回目)

○接種費用：無料(全額公費負担)

○接種場所：別紙の市内指定医療機関または本島内の地区医師会会員医療機関
(※接種前に予約を行い、必ず親子(母子)健康手帳を持参して下さい。)

※浦添市では定期接種の期間に接種できなかった方を対象に、行政措置を行っています。
詳しくは浦添市保健相談センターへお問合せ下さい。



■MR(麻しん・風しん)2期予防接種 接種スケジュール

1歳以上 → 2歳未満
1期

5歳以上 → 7歳未満
2期

小学校入学前の1年間
(年度内に6歳になる者)

いずれも1回に0.5mLを皮下接種

※今回は2期の接種です！

麻しん・風しんの流行防止のためには、
対象者のMRワクチンの接種率が95%
以上必要といわれています。
特に大事な予防接種です！

お問い合わせ先
浦添市保健相談センター(健康づくり課 予防係)
TEL 098-875-2100



麻疹（はしか）ってどんな病気？

麻疹ウイルスの感染によって引き起こされ、空気感染します。感染力はウイルスの中で最も強く（インフルエンザの約10倍）、十分な免疫が無い場合ほぼ100%発病します。

潜伏期間は10-12日で発熱、せき、鼻みず、くしゃみ、目やに、光をまぶしく感じる、倦怠感（こどもでは不機嫌）、などの症状がでます。38℃前後発熱が2-4日あり、一時的に解熱しますが、再び39~40℃の高熱（3-4日間）と発疹がでます。発疹がでる前にみられるコプリック班（口の中、頬の裏側に出る白い小さな斑点）は麻疹に特徴的な症状です。合併症がない場合も、回復までに7-10日程度必要です。発病後の有効な治療方法や治療薬が無いため、ワクチン接種による予防が最も重要です。また麻疹は免疫機能低下を招き、合併症を起こしやすい病気です。主な合併症は、肺炎、中耳炎、脳炎などです。

学校における麻疹対策ガイドラインでは、入園時、就学時健診、入学時にMRワクチンの接種歴確認と指導が推奨されています。感染力も強く、症状が重い疾患ですので、忘れずに予防接種を行いましょう！



風しん（三日はしか）ってどんな病気？

風しんウイルスの感染によって引き起こされ、せきやくしゃみ等で感染します（飛沫感染）。

潜伏期間は2~3週間で感染しても症状が出ない不顕性感染が15-30%程度見られます。症状は発熱、発疹、首のリンパ腺が腫れるなどで、発疹も熱も2~3日で治ることから「三日はしか」とも呼ばれていますが、はしか（麻疹）とは異なる病気です。年少児のうちにかかっても比較的軽い症状が多いですが、年長児や大人がかかると重症化になることが多いといわれています。

また、**妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、「先天性風しん症候群」という心臓病、白内障、聴力障害等のある赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。**

妊婦と生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るためにも、周りの人がしっかり予防する必要があります。

出席停止の期間：（学校保健安全法施行規則第19条）

麻疹→**解熱後3日を経過するまで**

風しん→**発疹が消失するまで**

MRワクチンの副反応について

主な副反応は注射部位の発赤や発熱、発疹で、これらの症状の多くは1~3日で自然に治ります。稀な副反応として、脳炎・脳症が100万~150万人に1人程度で報告されていますが、ワクチンとの因果関係が明らかでないものも含まれています。

接種後に気になる症状のある時は、早めにかかりつけの医師の診察を受けましょう。